

2019（令和元）年度 あんずの家事業報告書

はじめに

基本方針である「利用者さんの主体性が活かされ、ご本人（家族）のニーズが優先されるよう支援する。」に基づき、個人支援計画を作成し、お一人おひとりの自己実現に必要な支援を行った。利用者さんのニーズから「さをり織や音楽などの活動を中心とした利用」と「レクリエーションや健康管理を中心とした利用」の2つのグループに分けることで、利用の目的を達成できるよう努めた。

活動を中心としたグループでは、利用者さんのスキルが発揮できるよう支援し、生産活動で得られた収益を給料として、8月、12月、3月に配分した。さをり織りや音楽活動、芸術活動を通して達成感や充実感、満足感を味わっていただき、明日への意欲へと繋がっており、前向きな気持ちが、健康管理を中心としたグループの利用者さんにも伝わり、施設全体が明るく活気ある雰囲気を創りだしており、あんずの家の魅力となっている。

レクリエーションや健康管理を中心としたグループの利用者さんには、楽しさと心地よさを味わっていただけるよう支援に努め、自己決定のできるカードゲームや、身体の可動域を活かしたボールゲーム等、可能な限り自らの意思と力で参加できるよう支援した。次に、このグループは体温調節が難しい人や状態が急変する人が多いことから、体温の維持に大きな効果がある足浴を、4年目となる今年度も継続して実施した。その他、顔色、むくみ、動き、声の調子など数値では表すことができない異変に気づいた際には、家庭や医療との密な連携をとれるよう努めた。

全体の健康管理については、全ての利用者の健康について、日常的なバイタルチェック、月1回の体重測定により注意をはらってきた。こうした数値に基づく管理に加えて、入浴時の皮膚疾患への対応や、裂傷・打撲の発見・治療も行った。また、慢性的な疾病や急な発病に対して、より適切な対応ができるよう、医療と連携する必要性は高くなっており、看護師を中心に専門的な知識の習得に努めるとともに、加齢による身体機能の低下などの異変に気づける健康管理体制を構築していくことが必要である。

3月に入り、新型コロナウイルス感染防止対策として、利用者・職員共に午前午後に検温や体調に係る問診を行ったり、手指消毒や換気を徹底して行ったり、三密を避けるべく活動や食事を2グループに分けて行うなど、感染予防に取り組んだ。職員には、感染症に対する知識や予防に関する方法、そして、感染症が疑われる人が確認された場合の対応について研修を行い、万一に備える準備を行った。しかし、手指消毒用アルコールが半年分程度あるだけで、マスクや防護服などの防護用品の備蓄がなく、大きな不安につながった。これまでインフルエンザやノロウイルスなど感染症への対応は行ってきたが、今後は、治療方法が見つからない感染症を想定した、予防対策も準備していかなければならない。

職員体制においては、年間を通して2.0：1の職員配置を行い支援に当たった。年度途中で生活支援員の退職があり、配置基準ギリギリの状態が4か月間あったが、職員の協力のおかげで乗り切ることができた。

計画していた空調設備の更新については、保護者会からの寄付を受け、5月に工事を行った。その結果、快適性が増進したことは言うまでもないが、嬉しいことに電気代が非常に安価となった。

1 利用者の支援

(1) 日常生活を支える

- ①食事：個々の年齢や咀嚼の状況に応じて、刻み食やミキサー食の提供や、その時々体調による申し出により、おかゆなどの提供も行った。業務委託先の日米クックとは、調理の具合により濃すぎる味付けの際には減塩を求め、利用者の嗜好に合わない献立に対しては提供の中止を申し入れたりして、安全で美味しい昼食の提供に努めた。
- ②排泄：トランスファーや衣服の着脱、後始末、オムツ交換など自分の力ではできないことや、安全のために必要な介護を行い、快適に過ごしていただけるように支援した。
- ③入浴：希望者に週2回を目安に、入浴前にはバイタルチェックを行い、健康状態を確認して実施した。皮膚疾患の発見や、薬の塗布等、家庭と連携をとりながら適切な対応に努めた。
- ④健康管理：年度初めに、緊急時情報カードの書き換えを行い、服薬等の情報を最新のものにし、服薬管理及び救急搬送時への備えを整えた。
また、感染症の予防対策として、登所時の手指消毒、排泄後、昼食前の手洗いと消毒を年間通して行うと同時に、到着後には、血圧、体温、SP02のバイタルチェックを行い体調管理に努めた。この他、体重測定を月1回実施し、体重が大幅に減少している人には、かかりつけ医での検診を勧め、原因の早期発見に努めた。
- ⑤医療的ケア：あんずの家における医療的ケア実施要綱に基づき、胃ろう、喀痰吸引の医療的ケア実施希望者4名に医療的ケアを実施した。実施にあたっては、保護者が家庭において実施されている手順、内容と違いがないよう情報交換を密にした。

(2) 活動を支える

①生産活動【総収入額：819,924円／総支出額：931,056円】

差引-111,132円 ※生産活動の前期末支払資金残高1,392,888円から支出した。

・さをり織り【売上高：502,924円 原材料費：154,971円 差引347,953円】

令和元年度も市内の施設で共同受注した福山市敬老の日特別記念品制作において、布の提供が主な収入源となった。また、現有スタッフで製品化できる新商品の開発に取り組んだり、敬老特別記念品の布を提供する過程でできる大量の端切れや、売れなかった製品をネット上で販売することで販路の道が拓けた。使い道に困っていた物や販売に結びつかなかった製品に金銭的な価値が生まれたことで、今後の増収に期待できる。

・音楽【出演料：50,000円】

これまで年間を通して5回程度の演奏活動を行ってきたが、今年度は職員の退職や新型コロナウイルスの影響により、1回のみ演奏活動となった。その1回は、6月に開催された御幸でのハートフルコンサートで、14年続けての開催となり、町内の方々のご尽力に感謝するとともに、コンサート中盤では健康体操を行っていただき、和やかな雰囲気の良いコンサートとなった。

10月から講師を招いて練習を重ねており、演奏依頼があればいつでも応えられるよう準備している。利用者さんも演奏を通して、一生懸命さを届けられることを目標にして、練習

に取り組んでいる。

- ・印刷（カレンダー）【売上高：267,000円 原材料費等：231,000円 差引36,000円】

目標通り10月中に350部を製作し販売を始めた。300部の販売を目標としたが、利用者、保護者、関係者のご協力はいただけたものの、目標を達成することができなかった。次年度は製作部数を検討しなければならない。

- ・手形アート

令和元年度も6作品を制作しカレンダーの原画とした。また、「あいサポートアート展」や「陽と風と」展に出展した。あいサポートアート展では、「虹の海の主」が県知事賞を受賞し、その圧倒的な迫力に多くの賞賛の声をいただいた。この作品は、令和3年の県民手帳の表紙カバーに使われることになっており、その出来栄えと反響を楽しみにしている。また、県庁正面玄関や本館6階の講堂前のホールに2作品が展示されており、多くの人にみていただける機会を得ている。

※上記の生産活動にかかわった利用者には、工賃として年間545,085円支給した。

②レクリエーション

- ・利用者さんお一人おひとりが、集団の中で楽しめるようゲームを考案し実施した。その中で参加する喜びや、勝つことの嬉しさを味わっていただけるよう支援した。また、個々の楽しめることにも取り組んでもらおうと、個別の活動も行った。

2. 利用者の状況

(1) 月別利用状況

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開所日数	22	22	21	23	21	21	23	22	21	21	20	22	259
基準人数	440	440	420	460	420	420	460	440	420	420	400	440	5180
登録者数	22	22	21	20	20	20	20	20	20	20	20	22	—
延利用者数	392	392	345	366	338	352	378	361	349	338	296	395	4278
利用率	89.0%	89.0%	78.4%	79.6%	80.4%	80.0%	82.1%	82.0%	83.0%	80.4%	74.0%	89.7%	82.6%

※基準人数：4月、5月、6月、7月、8月、11月、2月、3月は基準開所日数を22日、10月の基準開所日数は23日、9月、12月、1月は21日、2月は20日とし、その日数に定員20人を乗じて算出している。

※利用率：延利用者数を基準人数で除して算出している。

令和元年度は、登録利用者22名でのスタートとなったが、6月に1名が他事業所へ、7月にも1名が遠隔地に移り、10月には1名が入所施設へ移行した。一方、新たに10月から1名が3月には支援学校を卒業した2名が利用を開始された。20名の登録月でも2名が月2回～4回程度の利用となったことから、年間での平均利用率は昨年度より3.5%下落した。インフルエンザに罹患する人もなく、新型コロナウイルスの影響もあまりなかったが、実質利用者数が18名であった月が8か月あり、平均利用率を押し上げることができなかった。

(2) 障害程度の状況 (2020年3月31日時点での在籍者数22人)

単位：人

	障害支援区分					身体障害者手帳				療育手帳			
	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	1級	2級	3級	6級	㊤	A	㊦	B
男	10	3	0	2	0	10	1	2	1	2	3	1	2
女	6	0	1	0	0	5	2	1	0	2	0	0	2
計	16	3	1	2	0	15	3	3	1	4	3	1	4

※障害程度区分、身体・療育手帳、いずれの欄も、障害程度は左が最も重い障害となっている。

障害支援区分の更新に際しては、新しい認定項目に基づいてシミュレーションを行い、従来の区分が維持できるよう情報提供を行った。年度途中で1名が上位区分へ変更となった。

(3) 年齢別利用者の状況

単位：人

年齢	～20	21～25	26～30	31～35	36～40	41～50	51～60	61～
男	0	2	1	1	5	1	3	1
女	2	0	0	0	1	0	4	1
計	2	2	1	1	6	1	7	2

※ 平均年齢 43.4歳 最年少 18歳 最高齢 67歳

3. 発表の場

《音楽活動》

2019年6月30日(日)	御幸学区ハートフルコンサート	御幸小学校
---------------	----------------	-------

《芸術活動》

2019年11月13日(火)～11月18日(日)	陽と風と…展	ふくやま美術館
2019年10月29日(火)～11月3日(日)	あいサポートアート展	広島県立美術館
2019年11月19日(火)～11月24日(日)	あいサポートアート展	ふくやま美術館

4. 販売の場 (さをり製品)

2019年9月4日(水)～9月29日(日)	夢紡ぎ展	とっとギャラリー
2019年1月21日(火)～1月26日(日)	虹の手織り展	天満屋シティギャラリー
不定期	イベント等での委託販売	トータルライフサポート

5. 交流の場

2019年12月19日(木)	暁の星女子中学校クリスマス奉仕	あんずの家
----------------	-----------------	-------

6. 年間実施行事

2019年4月5日(金)	お花見	中津原浄水場
2019年6月11日(火)	デビッドマシューズ ライブ	あんずの家
2019年8月12日(月) 8月17日(土)	納涼カラオケ大会	あんずの家
2019年8月21日(水)	夏の味覚を味わう会～そうめん流し～	あんずの家
2019年9月30日(月)	ぼんちゃんマジックショー	あんずの家
2019年12月24日(火) 12月25日(水)	クリスマス会	あんずの家
2019年1月6日(月)	初詣	新市天王社

《自衛消防訓練》

実施月日	9月5日(木)・12月26日(木)
------	-------------------

7. 実習受入

介護体験	9人	職場体験(中学生)	3人	実習(特別支援学校)	3人
------	----	-----------	----	------------	----

8. 苦情件数

令和元年度における苦情件数は0件で、施設内での事故も0件であった。